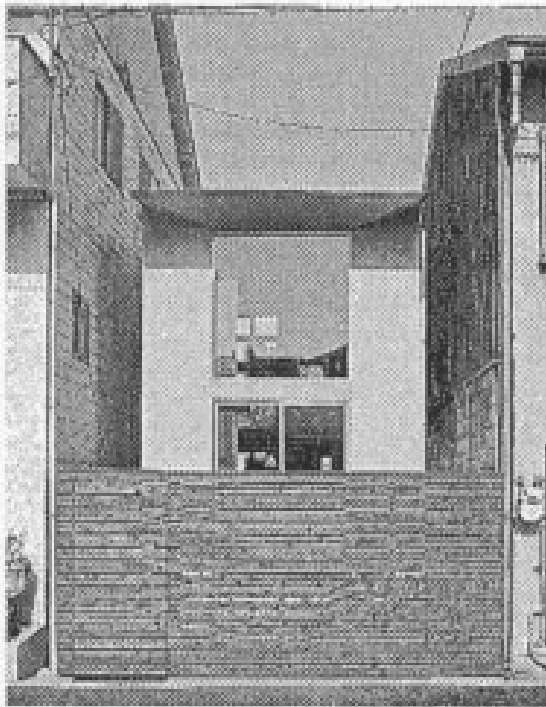


2件が大賞、来月表彰へ

県美しいまちづくり建築賞



住宅の部で大賞に選ばれた福岡市中央区の「ペットと暮らす家」



一般建築の部で大賞に選ばれた福岡市中央区の「天神MENTビル」

個性豊かで美しく、景観とも調和した建築物を表彰する「第22回県美しいまちづくり建築賞」(県主催)の受賞作品が決まった。大賞は、住宅の部が「ペットと暮らす家」(福岡市中央区)、一般

建築の部が「天神MENTビル」(同)。表彰式は3月7日、太宰府市の九州国立博物館である。

「ペットと暮らす家」

には、住人と猫9匹、犬1匹がおり、小さな造りへと建て替えた。必要以上建物に立派さを追及せず住環境を重視。「ペットを友達にして暮らす」という幸せを大事にしたことなどが選考委員に評価された。

「天神MENTビル」

は、都市部の商業地区と古い街並みが残る地区の両方に面する敷地であり、そうした立地状況を「建築内外の空間造形に

反映させた」とされた。今回は、81件の応募があり、大学教授やマスコミ関係者、県幹部など10人でつくる選考委員会(委員長＝工藤卓・近畿大教授)が審査した。ほかの受賞作品は次の通り(いずれも住宅、一般建築の順)。

【優秀賞】LEAF

HOUSE(リーフ・ハウス)(福岡市城南区)

▽東比恵ビジネスセンタ

ー(同市博多区) 【県建

築住宅センター奨励賞】

サトヤマウィレッジ13号

地(北九州市若松区)▽

ふくおかフィナンシャル

グループ本社ビル(福岡

市中央区)